



一般社団法人 長崎国際観光コンベンション協会  
Nagasaki International Tourism and Convention Association

## 理想の過ごし方ができる長崎市へ。 NEXTWEEKEND・村上萌氏と考えるオンラインワークショップ 「長崎人が、もっと長崎を好きになるための長崎会議」を開催しました！

(一社)長崎国際観光コンベンション協会(「DMO NAGASAKI」)は、新しい長崎の観光スタイルの創出を目的に、8月21日(土)NEXTWEEKEND・村上萌氏と「#discovernagasaki編集部発足!長崎人が、もっと長崎を好きになるための長崎会議」と題したオンラインワークショップを開催いたしました。

(ワークショップの企画意図等はこちら⇒<https://nextweekend.jp/87607/>)

### ◆イベントの様子



当イベントは長崎市在住の方をはじめ「以前住んでいた」「旅行先としてよく行く」など長崎の関係人口にあたる方々を『長崎人』として募集をかけ、抽選で選ばれた合計27名(午前の部14名と午後の部13名)が参加。参加者はワークショップを通して長崎への想いや、おすすめしたい長崎でのプラン等を共有しました。

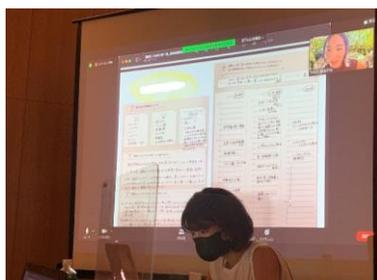
「理想の過ごし方ができる長崎」という観点から観光の魅力を掘り起こすことが本イベントのテーマ。オンライン形式での開催となりましたが、チャット機能を活用しながら参加者同士の関連な意見交換が行われるなど、大盛況なイベントとなりました。

当日は参加者の自己紹介から始まり、NEXTWEEKENDの村上萌さんと九州博報堂の一ノ瀬萌さんのトークセッションで長崎の暮らしやこれからの観光の可能性をシェア。そのうえで、NEXTWEEKENDプロデュースの長崎のWISHLIST(※)を参加者に展開し『大切な人が2泊3日で長崎に来たら、どんなプランを提案するか?』をテーマに参加者が発表し、長崎の生活の中にある観光の可能性を洗い出しました。(※)生活の中の野心を言語化したもの



村上萌さんは、参加者からあがった観光施設や好きな場所を‘どんな時間にどのように過ごすことが魅力なのか’の観点から切りこみ「たくさん知られていない魅力がある長崎を発信できていないことや長崎の人が諦めてしまうことはとても悔しいこと。今はSNSを通じて生活者がまちを変えていける時代なので、参加された皆様が編集者になった気持ちと一緒に長崎の理想の過ごし方をみつけ発信していきましょう！」と語りました。

#Discover  
Nagasaki



最後に長崎の理想の過ごし方のシェアを楽しむ「#discovernagasaki」「#長崎人の週末野心」のハッシュタグも発表。今後は、ワークショップの内容をふまえたNEXTWEEKENDによるモニターツアーや記事掲載等を予定していますので、ぜひご期待ください。

### NEXTWEEKEND・村上萌氏の紹介



#### 村上萌（むらかみもえ）

「季節の楽しみと小さな工夫」をコンセプトに掲げる  
コミュニティメディア NEXTWEEKEND代表。

ウェブサイトの運営を始め、連動した雑誌の刊行や週末イベント、ECストアの運営、その他空間や商品などのプロデュースを手がける。著書に「カスタマイズ・エブリデイ」「深夜の、かけこみ横丁」「受けつぎごと」雑誌「NEXTWEEKEND」「週末野心手帳」など。横浜市出身。アスリートのパートナーの結婚を機に神戸・札幌・大阪と移動しつつ、2021年よりパートナーのV・ファーレン長崎への移籍に合わせて長崎在住。2021年4月から、長崎県のIR実現を目指す「オシドリ・インターナショナル・ディベロップメント合同会社」の執行役員CSR担当に就任。

### トークセッション登壇者



#### 一ノ瀬萌（いちのせもえ）

株式会社九州博報堂 マーケティングプランニングディレクター。  
九州しあわせ共創ラボ「Qラボ」「Q女LAB」メンバー。

福岡県出身、長崎県長崎市在住。  
結婚を機に長崎に移り住み、現在は一児の母。  
九州の企業や自治体のマーケティング、ブランディング、プロモーションに携わる。

このリリースに関するお問い合わせ

一般社団法人  
長崎国際観光コンベンション協会（DMO NAGASAKI）  
DMO推進本部 企画部 担当 坂井、石川、小林

〒850 0862 長崎市出島町1-1 出島ワーフ2階  
TEL.095 823 7423  
FAX.095 824 9128

